

Save Gunkanjima 展



軍艦島デジタルミュージアムを中核とした
南山手地区文化観光拠点計画

アート & シンポジウム

11月21日(日) 入場無料

第1部 **アート展** オープニングセレモニー 10:00～ 場所:軍艦島デジタルミュージアム

刻一刻と姿を変える軍艦島の「余命」を様々な表現手法で展示します。

(申し込み不要)

<グラフィック> 軍艦島研究の第一人者、東京大学野口研究室協力のもと、建物部材の劣化損傷度データから、各建物の余命を算出。

軍艦島のアート写真とともに、グラフィカルなポスターに。

<オブジェ> 東京藝術大学FACTORY LABとの共同作品。低融合金を使用した軍艦島のミニチュアが、時間経過とともに一滴一滴と溶けていくアートで、姿を変える軍艦島を表現。 ※アート展は軍艦島デジタルミュージアム館内にて常設展示となります。

第2部 **シンポジウム** 13:00～17:00 発表・ディスカッション 場所:出島メッセ長崎 コンベンションホール1 HP

建築CPD情報提供制度認定プログラム

4単位 ※シンポジウム来場者の方に限ります。

申込先:長崎県建築士会:高浜 LEE05670@nifty.com

CPD番号、氏名(ふりがな)、電話番号をメールにてお送り下さい。

プログラム1 ～ パネリスト発表 ～ テーマ『建物の劣化診断を元に、軍艦島の今後を考える』

①秋野 公造 参議院議員 13:10～13:30

シンポジウムを収録した動画は後日YouTubeでご視聴頂けます
軍艦島デジタルミュージアムYouTube →

「軍艦島を守る為の道のり ～世界遺産リストから外れる危機だった軍艦島～」

②野口 貴文 東京大学大学院工学系研究科教授 13:30～14:05

「軍艦島建造物の余命診断と再生・保存に向けて」

③中村 享一 建築家、芸術工学博士 14:05～14:40

「軍艦島建築群の近代建築 (Modern Architecture) としての歴史的価値」

④中村 陽一 元島民、一級建築士、NPO法人歴史建築保存再生研究所会員 14:40～15:15

休憩 15:15～15:30 「最適な軍艦島保存工事の進め方」

プログラム2 ～ パネルディスカッション ～ 70分 パネリストは、上記の講演者と里隆光氏の5名となります。

シンポジウムコーディネーター 橋本 彼路子 長崎総合科学大学工学部教授 「軍艦島観光の可能性」 15:30～15:50



秋野 公造

野口 貴文

中村 享一

中村 陽一

里 隆光

長崎商工会議所 相談役

橋本 彼路子

主催:株式会社ユニバーサルワーカーズ
問合せ 軍艦島デジタルミュージアム

〒850-0921長崎市松が枝町5-6

電話 095-895-5000 メール info@gdm.nagasaki.jp



協賛:日本建築士会連合会

協力:長崎県建築士会・端島小中学校同窓会

後援:長崎市・長崎県・長崎商工会議所

長崎国際観光コンベンション協会

日本コンクリート工学会 (順不同)

SAVE GUNKAIJIMA展

この島は、生きている。



廃墟として知られる世界遺産、軍艦島。
しかしその建物群は、風化を続けている。
本展示は、老朽化する軍艦島を「余命」という
まったく新しい視点から表現した企画展です。

2021.11.21

OPENING CELEMONY 10:00 - 軍艦島デジタルミュージアム 入場無料

主催：軍艦島デジタルミュージアム 協力：東京大学工学系研究科 野口研究室 / 東京藝術大学 FACTORY LAB / 桐山製作所 / AGC 株式会社